

時間割番号: 2352000008

## 専門演習Ⅱ

担当教員

得田 雅章[Masaaki Tokuda]

開講学部等	経済学部	対象年次	3~4	単位数	2
開講時期	秋学期	開講曜時	水3	クラス	

### 授業の目的と概要

グローバル経済の進展により、ヒト・モノ・カネの流れが大きく変わってきています。本ゼミでは、この大いなる転換点を実証分析の観点から分析することを目的とします。具体的にはマクロ経済・金融データを主に用いて分析していただきます。

そのための前提は、①基本的な統計学の知識を持っている、②データを用いた計量分析ができること、です。計量分析ソフトはEViews学生版を用います。

テキスト報告回は90分のうち前半を報告、後半をEViewsを用いた実証分析に費やします。

### 授業の到達目標

就職活動期間の長期化が懸念されるため、従来より前倒しで卒論に関する取り組みを始めてもらう。

専門演習Ⅱでの目標は3つ。

1. 計量分析ソフトEViewsの活用とWord、Excel、PowrPointの相互活用
2. わかりやすい報告
3. 卒業論文のたたき台として期末レポート（30枚相当）を作成である。

### 授業計画

回 内容

- 01 インTRODクシヨン（1）
- 02 テキスト2・3章報告
- 03 テキスト4章報告
- 04 テキスト5章報告
- 05 テキスト6章報告
- 06 卒業論文執筆経過報告（1）
- 07 卒業論文執筆経過報告（2）
- 08 テキスト8章報告
- 09 テキスト9章報告
- 10 テキスト10章報告
- 11 テキスト11章報告
- 12 卒業論文執筆経過報告（3）
- 13 卒業論文執筆経過報告（4）
- 14 まとめ、期末レポート提出、以後の学習へのアドバイス

### 授業計画の補足（事前学習・事後学習など授業時間外の学習、参考資料など）

EViews学生版を自分のPCにインストールしておく。  
コアセッションSAに応募する意欲を持っている人を歓迎します。

### 成績評価の方法

全演習出席が前提です。そのうえで①報告内容、②議論への参加度・理解力・提言力、③卒論テーマに関するレポートで総合評価します。なお、本学経済経営研究所主催の夏季学生懸賞論文コンクールに参加（投稿）した場合、さらに高評価を与えます。

### 成績評価の基準

出席必須、隔週の報告40%、期末レポート60%をもとに総合的に評価する。  
積極的な受講態度が見受けられない場合は減点、あるいは欠席扱いにします。遅刻も同様です。

### 教科書

教科書1	ISBN	4915787451				
	書名	計量経済学				
	著者名	山本拓 著,	出版社	新世社	出版年	1995

### 参考書

参考書1	ISBN	4535554978				
	書名	例題で学ぶ初歩からの計量経済学 第2版				
	著者名	白砂 堤津耶	出版社	日本評論社	出版年	2007

### 教材に関する補足情報

教科書については、ゼミ生の興味や能力を考慮し、適宜変更する可能性があります。

### 参考文献一覧

- ・ EViews関連書籍
  - ・ 日本のマクロ金融経済に関する書籍
- 他、演習中に適時提示します。

### 履修上の注意事項

講義には作成したファイルを保存できるUSBメモリ等を用意しておいてください。また、前回までに使用・作成したファイルも持ってきてください。

EViews操作の熟達

演習で使用する計量ソフトはEViewsがメインです。すべての機能に習熟せよとは言いませんが、使いこなしに関して毎回何らかの“進歩のほど”を示してください。

### キーワード（「実務経験のある教員による授業科目」は「実務経験」で検索）

### 備考（実務経験の内容と授業との関連を含む）

### 参照ホームページ

### 教員からの一言

### オフィスアワー

火曜日の昼休み（12：00～12：50）

### 連絡先（研究室他）

402B室

### 連絡先（電話番号）

### 連絡先（メールアドレス）

m-tokuda@biwako.shiga-u.ac.jp

■ ■ ホームページ

<http://www.biwako.shiga-u.ac.jp/sensei/m-tokuda/>

■ ■ 備考（教員情報）

電子メールにて